2023 年 8 月 作成（第 2 版）
Ver.2-0

医療機器届出番号　13B1X10253000041
一般医療機器　関節運動テスタ　36148000

AT メジャー

取扱説明書

Aimedic MMT

本機器は必ず医師の指示に基づいてご使用ください。

はじめに

このたびは、お買い上げありがとうございました。

AT メジャーは、医療施設にて足関節の不安定性を非侵襲に定量的に評価する機器です。捻挫患者を主たる対象として足関節前方引き出しテストで使用し、疾患の前距腓靭帯の状態を計測することで患者の重症度、回復度を定量的に評価することを目的としております。

本機器の製作および検査に当たりましては、細心の注意を払い、自信を持っておすすめできるものと確信いたしておりますが、万一お気づきのことがありましたら、遠慮なくご指摘くださいますようお願い申し上げます。

本書に示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や周りの人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用の前に必ず本書をよく読み、内容を理解した上で正しくお使いください。

特に、「安全上の警告と注意」は必ずお読みください。

本書はいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。

目次

はじめに 2

安全上の警告と注意 4

1. 使用前の準備 6

1.1 AT メジャーのセット内容 6

1.2 ご用意いただくもの 6

1.3 表示ユニット 各部の説明、LED 機能 7

1.4 装具の装着方法 8

1.5 通信ケーブルの接続 9

1.6 CS センサの接続 9

2. 使用上の注意 10

3. 使用方法 12

3.1 表示ユニット 12

3.2 前方引き出しテスト 13

4. エラーメッセージ 14

5. 保守点検 15

5.1 始業点検 15

5.2 終業点検 15

5.3 保守点検 16

5.4 清掃のしかた 16

5.5 保守点検に関わる注意事項 16

6. 保管方法 17

6.1 保管条件 17

6.2 耐用期間 17

6.3 廃棄方法 17

7. 仕様 18

8. 技術解説 19

8.1 測定原理 19

8.2 表示値の演算方法 19

8.3 動作モードの解説 20

EMC ガイダンス 21

保証について 23

安全に関する表示について

本書に記載の警告や注意は、本機器の誤った取り扱いによる事故を未然に防止するため、以下のようなマークを付けています。

	安全に関する警告や注意の文章が記載されていることを示します。 記載の文章をよく読んで、安全にお使いください。
	禁止の行為であることを示します。 絶対に行わないでください。
	行為に対する指示を示しています。 必ず指示に従ってください。
	IEC60601-1 に規定される電撃に関する保護度合い：BF 形装着部であることを示します。
	直流（DC）を表す記号です。

安全上の警告と注意

本機器を使用するときは必ず以下の注意事項を守り、正しくお使いください。また、本書はよく読んだ上、いつでも見ることができる場所に大切に保管してください。

 **警告**	取り扱いを誤った場合に、死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される場合

	本機器の装着・測定の実施は患者以外の専門家（医師や訓練士）が実施･確認を行ってください。
	操作者は患者に対して、本機器の機能を十分説明し、使用に対する了承を得たうえで機器を使用してください。
	磁気共鳴画像(MRI)装置、コンピュータ断層撮影(CT)装置との併用は行わないでください。電磁干渉により、本機器に誤作動等の異常、装置への吸着、故障、破損、やけど等を起こす恐れがあります。
	濡れた手で本機器に触らなでください。感電の恐れがあります。
	本機器の電池部と患者に同時に触らないでください。感電の恐れがあります。

安全上の警告と注意（つづき）

	引火性、可燃性（麻酔ガス、高濃度酸素、ガソリン等）の蒸気があるところでは使用しないでください。火災の原因になります。
	本機器を分解や改造をしないでください。火災や感電の原因になります。
	万一、本機器の破損や、発煙、異臭などの異常が認められた場合には、直ちに使用を中止してください。火災の原因になります。そのような場合には、電源を切り電池を抜いて、本書に記載の連絡先までお問い合わせください。
	電池は、火の中に入れたり、充電、ショート、加熱、分解などをしないでください。破裂や発熱により、火災、けがの原因になります。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および、物的損害の発生が想定される場合

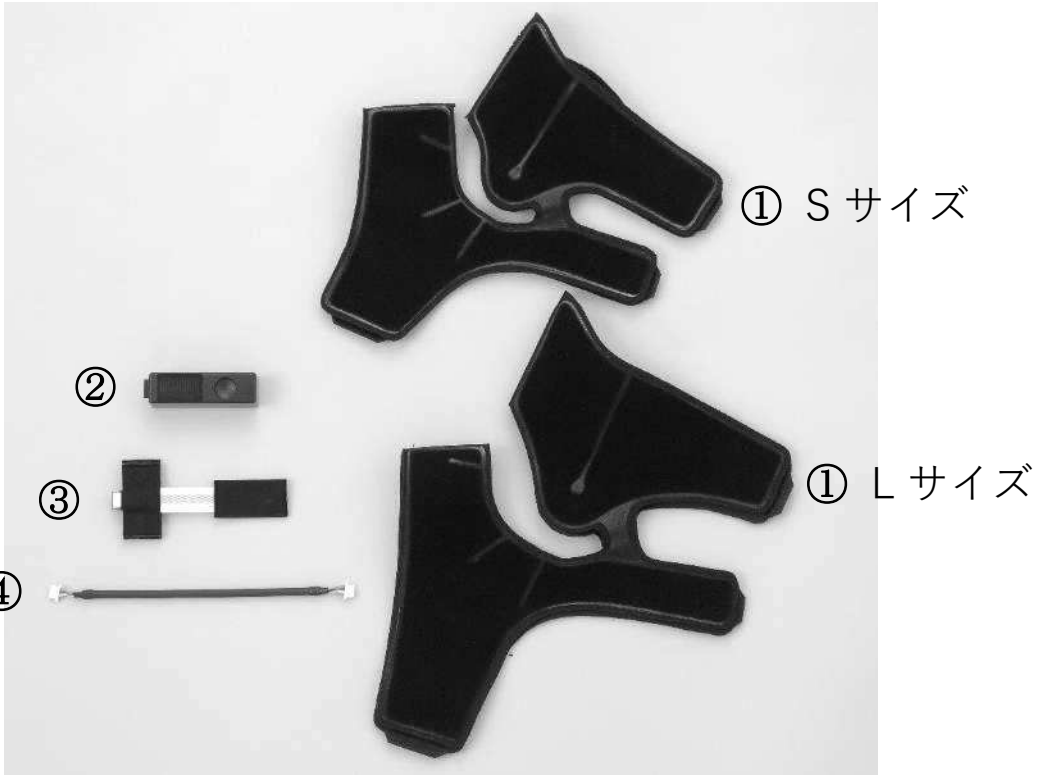
	本機器は足関節の不安定性を計測する機器であり、足関節の矯正や保護する効果はありません。
	本機器は長時間の計測を想定していません。測定時以外で本機器を装着したままにしないでください。
	次の患者へのご使用は医師の判断の上で慎重に行ってください。 ・足関節に外傷や傷害があり、計測時に必要な体位の維持が困難な患者［前距腓靭帯の状態を計測できない恐れがある］ ・体液、血液が製品に付着するような患者［感染の恐れがある］
	万一、本機器の接触部位に、赤み、かぶれ、痛み、かゆみなどの異常を感じた場合は、使用を中止して、担当の医師にご相談ください。
	本機器指定以外の電池を使用しないでください。本機器に電池を挿入する際は、本機器の極性表示にしたがって正しく入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する恐れがあります。万一、電池のアルカリ液などが目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、すぐに水で洗い医師の治療を受けてください。

1. 使用前の準備

1.1 AT メジャーのセット内容

ご使用になる前に、以下のものが揃っていることをご確認ください。

写真	名称	各構成品の機能
①	装具	計測する足関節に装着する。ラインマークを目印にすることで前方引き出しテストの際の足関節角度を一定に保つ。 S サイズ、L サイズがある。
②	表示ユニット	CS センサで検知した出力を長さの数値に変換して画面に表示する。計測のための電源を備える。
③	CS センサ	前距腓靭帯に沿って装具に装着し、前方引き出しテストにおける引き出し量を検出する。
④	通信ケーブル	CS センサで検知した出力を表示ユニットに送信する。
—	添付文書	独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）ホームページの添付文書等情報検索ページよりご確認ください。
—	取扱説明書	本書

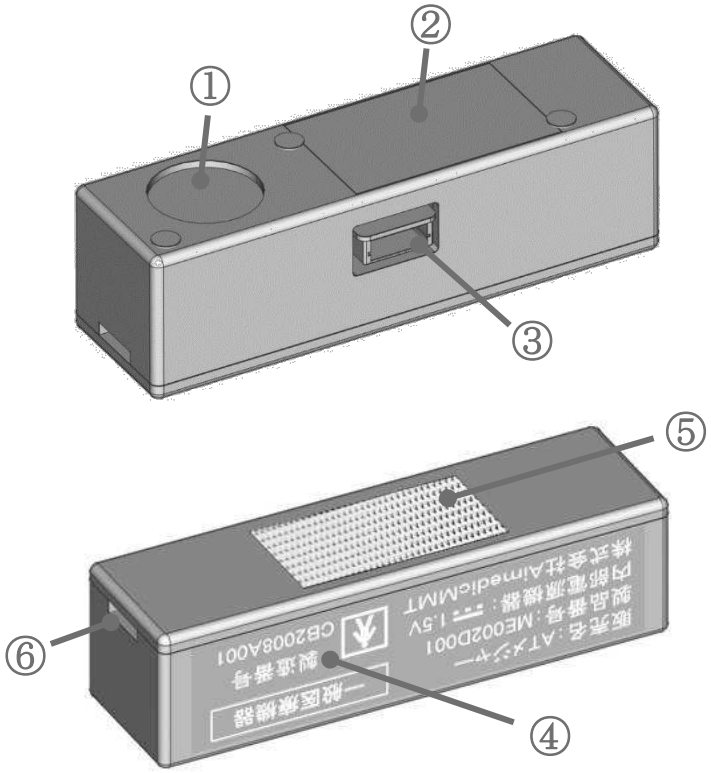


1.2 ご用意いただくもの

・単 4 形アルカリ乾電池× 1 本

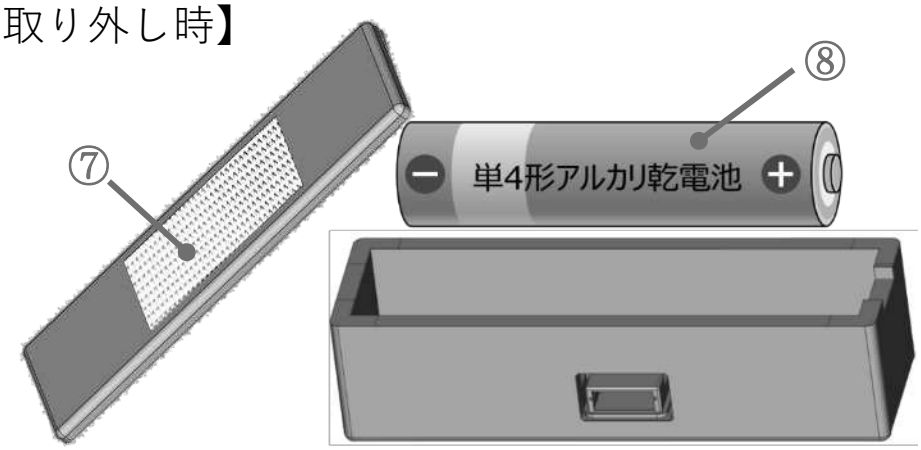
1. 使用前の準備（つづき）

1.3 表示ユニット 各部の説明、LED 機能



①	電源スイッチ
②	表示部
③	コネクタ
④	定格銘板、製造番号
⑤	面ファスナ
⑥	電池蓋ツメ
⑦	電池蓋
⑧	単４形アルカリ乾電池

【電池蓋取り外し時】



- 電池蓋ツメの箇所から電池蓋を開いてください。
- 電池ボックス内の極性（＋，－）の向きに乾電池を装填してください。
- 単４形アルカリ乾電池を使用してください。

1. 使用前の準備（つづき）

1.4 装具の装着方法

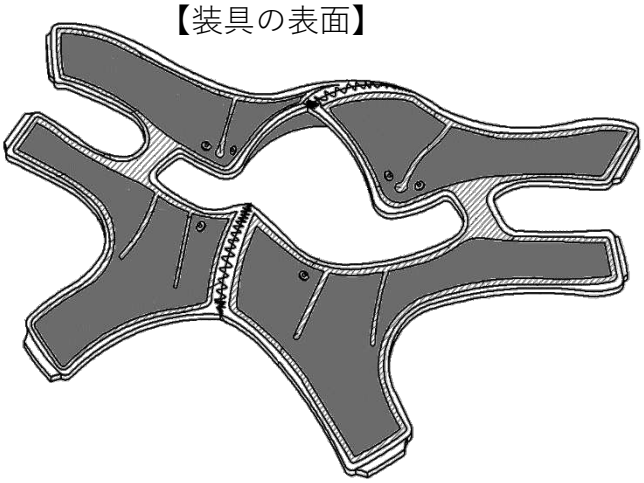
装具にはＳサイズとＬサイズがあります。適したサイズをご使用ください。

・内果近位の最細部周囲長 15cm～20cm：Ｓサイズ（参考）

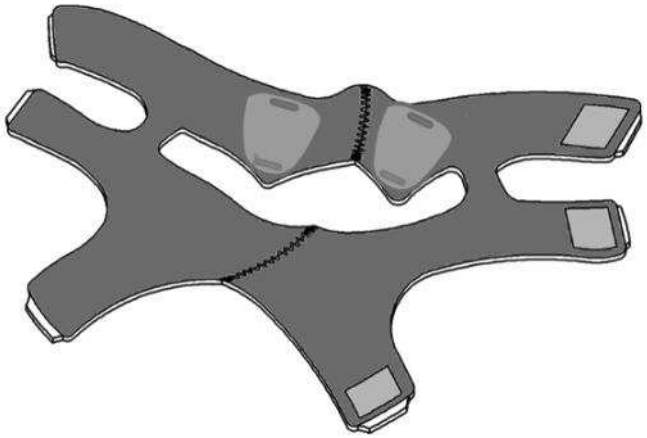
・内果近位の最細部周囲長 20cm～25cm：Ｌサイズ（参考）

① 装具を開く。

【装具の表面】

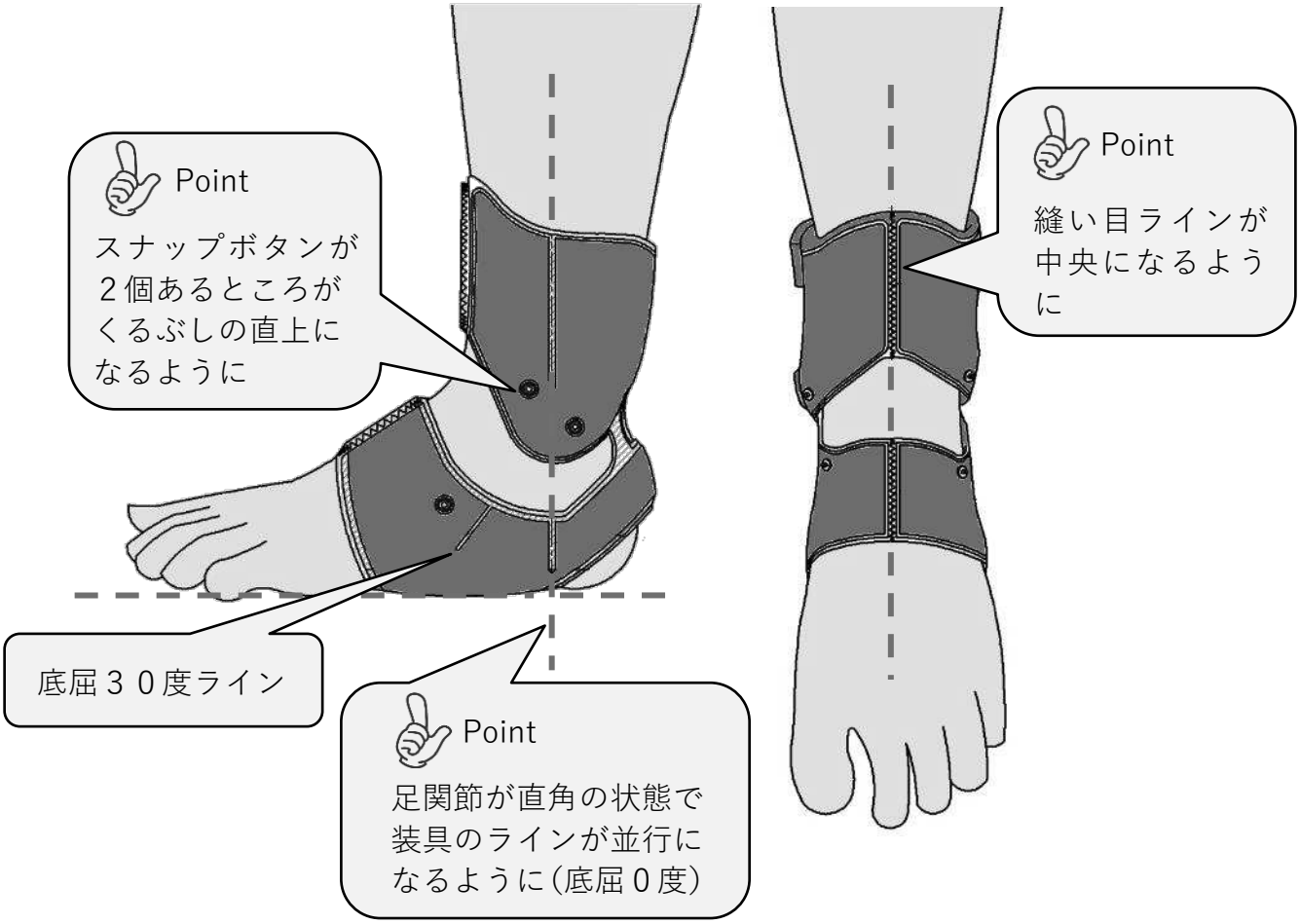


【装具の肌面】



② 足関節に装着する。（足首、かかと、足裏の面ファスナを留める）

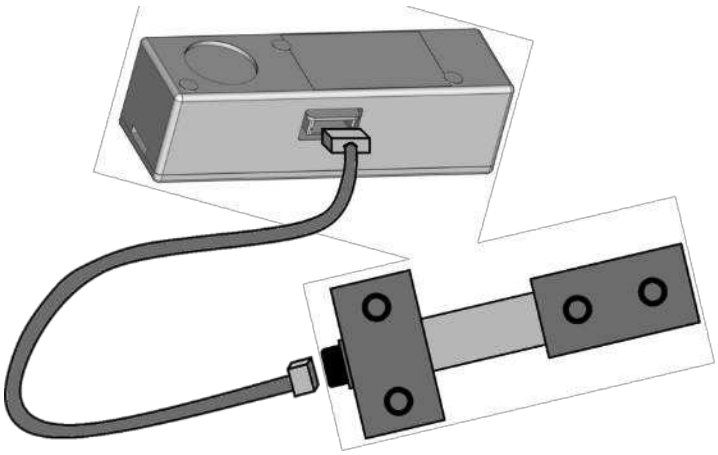
角度ライン表示を合わせることで患者間誤差や検者間誤差を低減することができます。



1. 使用前の準備（つづき）

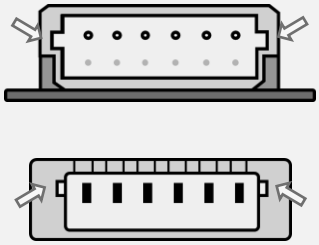
1.5 通信ケーブルの接続

③ 表示ユニットと CS センサを通信ケーブルで接続します。



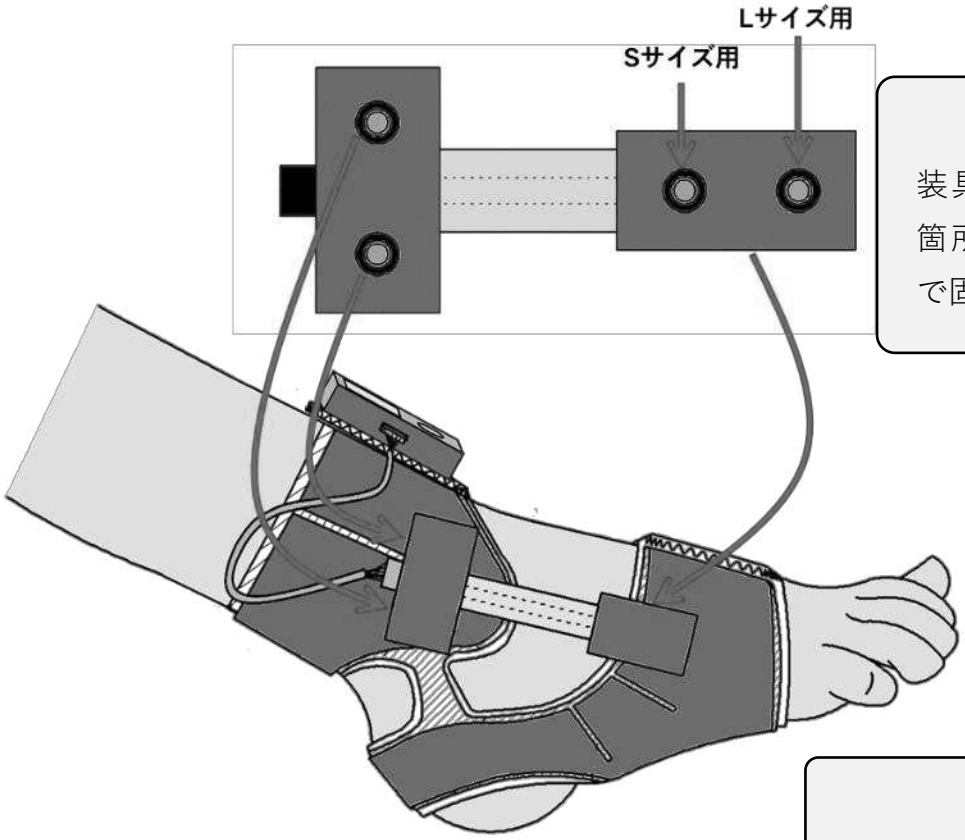
Point

溝がはまるように
向きに注意する



1.6 CS センサの接続

④ 装具に CS センサをスナップボタンで固定します。



適正な装着状態

Point

装具のサイズに合った
箇所のスナップボタン
で固定する

Point

CS センサは外果側（小指側）
に装着する

2. 使用上の注意

禁忌・禁止

（1）併用医療機器

- MRI（磁気共鳴画像検査)、CT（コンピュータ断層装置）[電磁干渉により、本機器に誤作動等の異常、装置への吸着、故障、破損、火傷等を起こす恐れがある]

（2）使用方法

- 濡れた手で製品にさわらないでください。[感電の恐れがある]
- 本機器の電池部と患者に同時にさわらないでください。[感電の恐れがある]

重要な基本的注意

- 使用前に、各構成部品の点検を行い正常に使用できることを確認してください。
- 使用中は、本機器及び患者に異常のないことを絶えず監視してください。
- 本機器及び患者に異常が発見された場合は、患者に安全な状態で本機器の使用を止める等適切な処置を講じてください。
- 電池、電子部品類を廃棄する場合は、法的要件に従って廃棄してください。患者に対し、本機器の機能を十分説明し、了承を得たうえで使用してください。
- 製品に過度の負荷を加えないでください。

使用注意

次の患者へのご使用は医師の判断の上で慎重に行ってください。

- 四肢・体幹不自由、肥満体、測定に必要な体位（運動時の姿勢制御なども含む）の維持が困難な患者。[前距腓靭帯の状態を計測できない恐れがある]
- 小児など、内果近位の最細部周囲長が 15cm 以下の患者。[前距腓靭帯の状態を計測できない恐れがある]
- 体液、血液が製品に付着するような患者。[感染の恐れがある]
- 金属や異物に対して重篤なアレルギーがある患者。[アレルギー発現の恐れがある]

相互作用／併用禁忌

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
指定製品以外の医療機器	不具合等が生じるおそれがある	正常に機能しない

使用上の注意（つづき）

不具合･有害事象

本機器の使用により起こり得る不具合･有害事象を以下に記載します。以下のような場合は、直ちに使用を中止し適切な処置を行ってください。

（1）その他の不具合

・製品の変形･破損

（2）その他の有害事象

・身体組織の損傷、痛み、不快、違和感、神経の損傷、麻痺、しびれ、感電

装着に関する注意

・測定時以外は本機器を装着したままにしないでください。
・厚手の靴下等の上から装着せず、素足に本機器を装着してください。
・薄手のストッキング等の上から装着する場合は、計測時にストッキングと装具がずれないことを医師が判断の上で使用してください。
・本機器と足が濡れた状態では使用しないでください。
・本書に記載の装着方法を確認し、装具等を正しい位置に装着してください。
・構成品の接続が正しく行われていることを確認してください。
・装具に折れ、よじれがある状態で測定を実施しないでください。
・装具を装着する際は、適切な張力で装着してください。
・コネクタを接続する際は差込口や表裏を間違えた状態で無理やり接続しないでください。
・測定中は CS センサに直接触れないようにしてください。
・通信ケーブルが突起物等に干渉しないようにしてください。
・本機器の落下や水没等による破損を防いでください。
・装具を取り外す際に、コネクタや通信ケーブルを無理に引っ張らないでください。
・装着中は本機器の通信ケーブルの取り回しに注意してください。

測定に関する注意

・本機器は下記の環境下でご使用ください。
・温度：＋10 ℃ ～ ＋35 ℃
・湿度：30%RH ～ 80 %RH（結露なきこと）
・水のかからない場所で使用してください。
・表示ユニットを強くぶつけたり、高所から落下させたりすると故障の原因になるため注意してください。
・測定中は CS センサに触れないように注意してください。触れたことによりセンサが伸長すると計測結果に影響してしまいます。

3. 使用方法

3.1 表示ユニット

3.1.1 計測モード選択

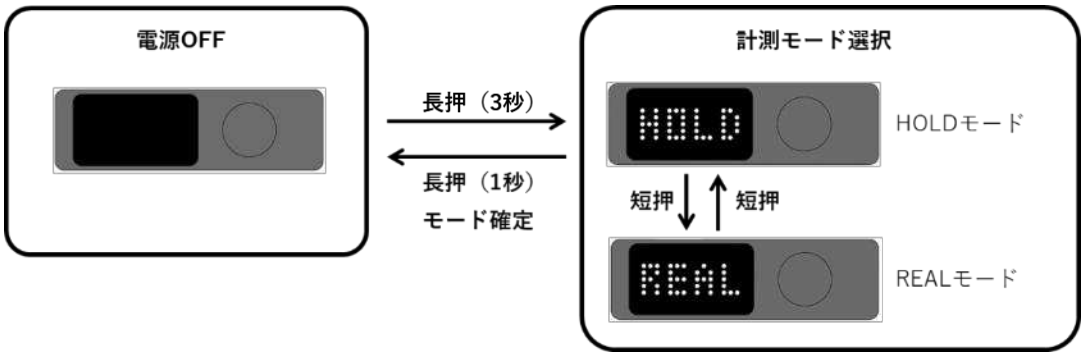
本機器には 2 つの計測モードがあります。表示は 0.2 秒間隔で更新されます。

- リアルモード（REAL）　：基準値からの相対的な変位量をリアルタイム表示します。
- ホールドモード（HOLD）：測定開始してからの最大変位量をホールドして表示します。

※出荷時はホールドモードに設定されています。

※各計測モードの演算方法については P20 を参照

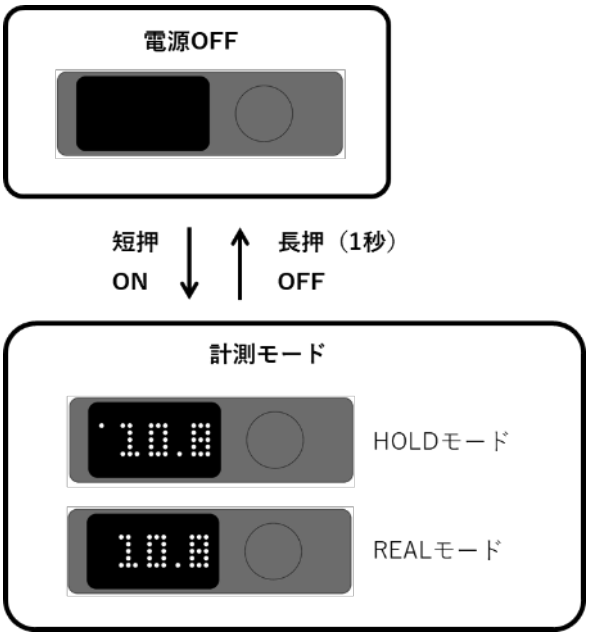
① 電源ボタンを長押し（3 秒間）して計測モード選択画面にします。
現在のモード（HOLD または REAL）が表示されます。
ボタンを短押しするとモードが変わります。
長押し（1 秒間）するとモードが決定され、電源が OFF します。



3.1.2 計測

② 電源ボタンを短押しして電源を ON します。
電源 ON 時の CS センサの長さを 0mm として数値が表示されます。単位：mm
ボタンを短押しすると、ゼロセットされます。

- 計測中にモードを切り替えることはできません。一度電源を OFF する必要があります。
- 計測画面の左上にドットマークが付いていると HOLD モード、無い場合は REAL モードです。



3.1.3 終了

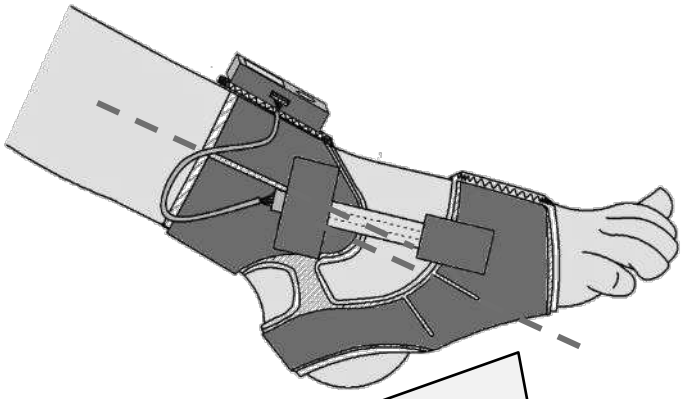
③ 電源ボタンを長押し（1 秒）して電源 OFF します。

3. 使用方法（つづき）

3.2 前方引き出しテスト

足関節底屈角度を一定に保ってテストを行うことで、検者内誤差や検者間誤差を低減することができます。

① 足関節肢位としては自然下垂とし、底屈 0 度と 30 度のラインを参考にして、自然下垂時の底屈角度を保つようにテストします。

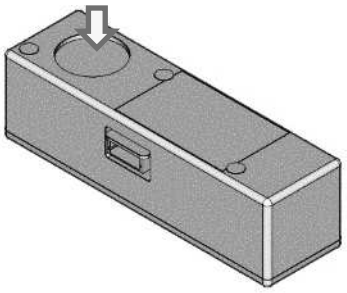


Point
装具のラインが並行になると底屈３０度。

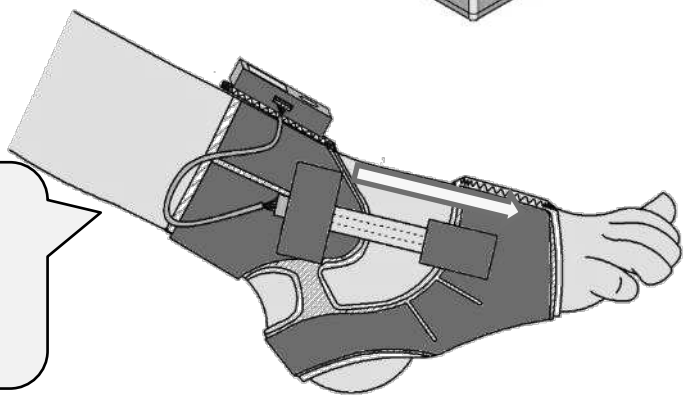


Point
縫い目ラインが中央になるように

② 表示ユニットの電源スイッチを短押ししてゼロセットします。



③ 前方引き出し



Point
CS センサの長手方向に引き出す（前距腓靭帯に並行する方向）

③ 逆の足関節を測定する場合は、装具の脱着の前に、CS センサを取り外し、外果側（小指側）になるように再装着し、同様の手順で使用してください。
装具は左右のどちらの足関節にも使用できます。

4. エラーメッセージ

本機器に異常がある場合、以下のエラーメッセージが表示ユニットの画面に表示されます。下表に従って対応してください。対策を実施しても改善されず、故障が考えられる場合、ご購入の販売店、または本書の裏表紙に記載の連絡先にご相談ください。

番号	内容	種類	表示		対策	参照
C10	表示ユニット故障	エラー	常時		販売店に問い合わせる。	23,24
C20	電源電圧低下	エラー	常時		電池を交換する。	7
C30	センサ未接続	エラー	常時		センサ、通信ケーブルを接続し直す。	9
C33	センサ故障	エラー	起動時		センサ、通信ケーブルを接続し直す。 センサを交換する。	23,24
C40	センサ使用回数(4000 回超)	情報	起動時		センサを準備する。	23,24
C50	センサ使用回数(5000 回超)	情報	起動時		センサを交換する。	23,24
	センサ使用回数(5500 回超)	情報	常時		センサを交換する。	23,24

5. 保守点検

5.1 始業点検

本機器を使用する前に毎回点検してください。

■ 始業前点検チェックリスト			参照ページ
項目	内容	対策	
外観	ひび割れ、破損等がないか。	認められる場合は使用を中止してください。	6, 7
	電池蓋は閉まっているか。	電池蓋をきっちり閉めてください。	7
	汚れがないか。	清掃してください。	16
表示 電池	LED が点灯するか。	電池が正しく装填されているかを確認してください。電池マークまたは表示が点灯しない場合は電池を新品に交換してください。	7, 14

5.2 終業点検

本機器を使用した後に必ず点検を行い、次回の使用に備えてください。

■ 終業時点検チェックリスト			参照ページ
項目	内容	対策	
電源	表示ユニットの電源が OFF になっていますか。（LED 消灯）	電源スイッチを長押し(約 1 秒)して OFF してください。	7, 12
	電池を取り外しましたか。 ※取り外した場合は、電池室内に異常が無いことを確認してください。	2 週間以上の期間で使用予定が無い場合は取り外してください。	7
	計測中に電池マークの表示がでましたか。	次回のために新品の電池を準備してください。	7, 14
機能	使用中に何らかの異常は生じませんでしたか。	エラーメッセージに応じて対応してください。	14
清掃	汚れはありますか。体表に接した部位を清掃しましたか。	汚れを清掃してください。	16
整理	装具から CS センサを取り外しましたか。	コネクタ部分は取り外さず、センサ部やコネクタ部にテンションや圧迫力がかからない状態で保管してください。	9

5. 保守点検　（つづき）

5.3 保守点検

項目	頻度	内容	参照ページ
外観	毎回	汚れ、破損等	16
表示	毎回	LED が点灯することを確認する	7, 14
清掃	毎回	水で濡らし固く絞った柔らかな布やエタノールを含んだガーゼ等で軽く拭く	16
電池残量	毎回	電源 ON 時にエラー表示（電池マーク）が表示されないことを確認する	14
電池交換	表示時	電池残量が少ない（LED が電池マークまたは点灯しない）場合は、単 4 形アルカリ乾電池を新品に交換する	7, 14

点検後、本機器の故障が考えられる場合は、ご購入の販売店または、本書の裏表紙に記載の連絡先にご相談ください。

5.4 清掃のしかた

・本機器を清掃するときは、水で濡らし固く絞った柔らかな布や、消毒用エタノールを含んだガーゼ等で軽く拭いてください。その他の方法や溶剤などは用いないでください。
・エタノールを含ませた布などでふき取る場合は、装具の内側のみとしてください。
・水やエタノール等が機器内部に侵入しないように注意してください。
・洗濯機による清掃は実施しないでください。
・清掃後は自然乾燥させてから使用してください。濡れた状態での使用はできません。
・表示ユニットの面ファスナにゴミが付着していると固定力が低下するためゴミを取り除いてください。

5.5 保守点検に関わる注意事項

・しばらく使用しなかった後、再使用するときは、使用前に必ず本機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。
・本機器や付属品は使用後に掃除した後、コネクタ部分は取り外した状態で、次回の使用に支障が無いよう整理してまとめておいてください。
・CS センサを装具から脱着するときは、非伸縮部を持ってスナップボタンを外してください。伸縮部を持って外した場合、破損する恐れがあります。
・電池交換時、電池の極性を間違えないように注意してください。
・濡れた手で電池交換は行わないでください。
・充電式電池（蓄電池）は使用しないでください。
・2 週間以上使用しない場合は電池を抜いてください。
・本機器は滅菌することはできません。

6. 保管方法

6.1 保管条件

本機器は以下の場所で保管してください。(輸送時を含む)

- 水のかからない場所。
- 気圧、風通し、日光、ほこり、湿度、温度、塩分、イオウ分等を多く含んだ空気等により悪影響を生ずるおそれのない場所。
- 傾斜、振動・衝撃等のない安定した場所。
- 化学薬品の影響やガスの発生しない場所。
- 保管温度・湿度

  温度　　：0℃ ～ 40℃

  相対湿度：10% ～ 80%　結露無きこと。

6.2 動作保証条件

- 温度　　：10℃ ～ 35℃
- 相対湿度　：30% ～ 80%　結露無きこと

6.3 耐用期間

- 装具、表示ユニット、通信ケーブル

  適切な保守・点検を実施した場合 2 年（自己認証による）
- CS センサ

  1 年または 5,000 回の伸長

6.4 廃棄方法

- 本機器および付属品は医療廃棄物業者に委託して産業廃棄物として処分してください。
- 法定表示ラベル、添付文書、本書はシュレッダにかけて事業系一般廃棄物として廃棄してください。
- 外箱は通常廃棄物として事業系一般廃棄物として処分してください。
- 使用済みの乾電池は地域の自治体の規則に従って廃棄してください。

7. 仕様

製品構成

販売名	品名	製品番号	セット内容
AT メジャー	AT メジャー	ME002D0001	CS センサ、表示ユニット、通信ケーブル、装具（2 種 L / S）
	CS センサ	ME002D0002	CS センサ

※オプション品として装具単品（L/S/SS）

製品機能

分類	項目	単位	測定精度	内容
機能	伸長量	(mm)	±8%	CS センサの変位量

仕様

項目	項目	内容
電気的定格	定格消費電力	1.5 V ⎓ 0.05W
	電源	単 4 形アルカリ乾電池 1 本
	電撃に対する保護の形式による分類	内部電源機器
	電撃に対する保護の程度による装着部の分類	BF 形装着部（表示ユニット）
	外装による保護の程度	IPX0
表示ユニット	内部電圧	3.3V
	連続稼働時間	8 時間
	寸法	60mm（幅）19mm（奥行）17mm（高さ）
	質量	50 g 以下（電池含まず）
適用範囲	計測範囲（伸長量）	0mm～30cm（目安）
	対象範囲	内果近位の最細部周囲長が 15cm～25cm 周囲長 15cm～20cm：S サイズ（参考） 周囲長 20cm～25cm：L サイズ（参考）
使用環境条件	温度範囲	+10°C～+35°C
	湿度範囲	相対湿度 30～80% （結露なきこと）
体に触れる可能性のある部分の組成	装具	ナイロン、ポリウレタン
	CS センサ	ポリエステル
	通信ケーブル	ポリ塩化ビニル
	表示ユニット	ABS 樹脂
耐用期間	耐用年数	本体 2 年［自己認証］ 適切な保守点検を実施した場合 CS センサ 1 年または 5,000 回の伸長
保証	保証期間	本体 購入日から 1 年間 CS センサ 購入日から 1 年または 5,000 回の伸長

8. 技術解説

8.1 測定原理

前方引き出しテストにおける引き出し量の測定

装具に CS センサ（静電容量式）を備えることで、前方引き出しテストおける距骨と腓骨の関節間の可動距離（開き具合）を CS センサの伸びとして定量的に計測し、前距腓靭帯の緩みを定量的に評価することができる。CS センサの伸びによる静電容量の変化を本体でデジタル変換し、長さ(mm)に数値変換して表示ユニットに表示する。

8.2 表示値の演算方法

伸長量（mm）

CS センサは静電容量式のストレッチセンサであり、伸長量に応じて線形的に静電容量が変換する。通信ケーブルを介して表示ユニットの電子回路に備える CV 変換回路にて、静電容量に対応したアナログ電圧に変換し、アナログ信号をデジタル情報に変換する。

CS センサは不揮発性メモリを内蔵しており、CS センサ個別の特性値（データテーブル）を記録しており、表示ユニットは通信ケーブルを介して不揮発性メモリと通信し、データテーブルを参照することで、CS センサの出力情報を伸長量（変位量）に換算し、表示ユニットの表示部に数値を表示する。

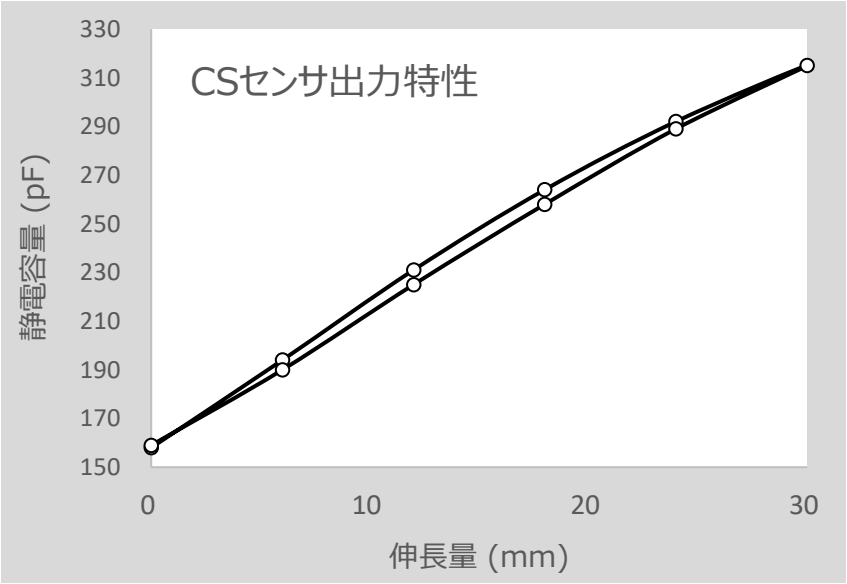


図 1. CS センサ出力特性（変位量と静電容量の関係）

8. 技術解説　（つづき）

8.3 動作モードの解説

(1) リアルモード(REAL)



基準値（ゼロセット）からの相対的な変位量をリアルタイムに表示します。基準値に対して伸長方向と収縮方向を区別して表示します。

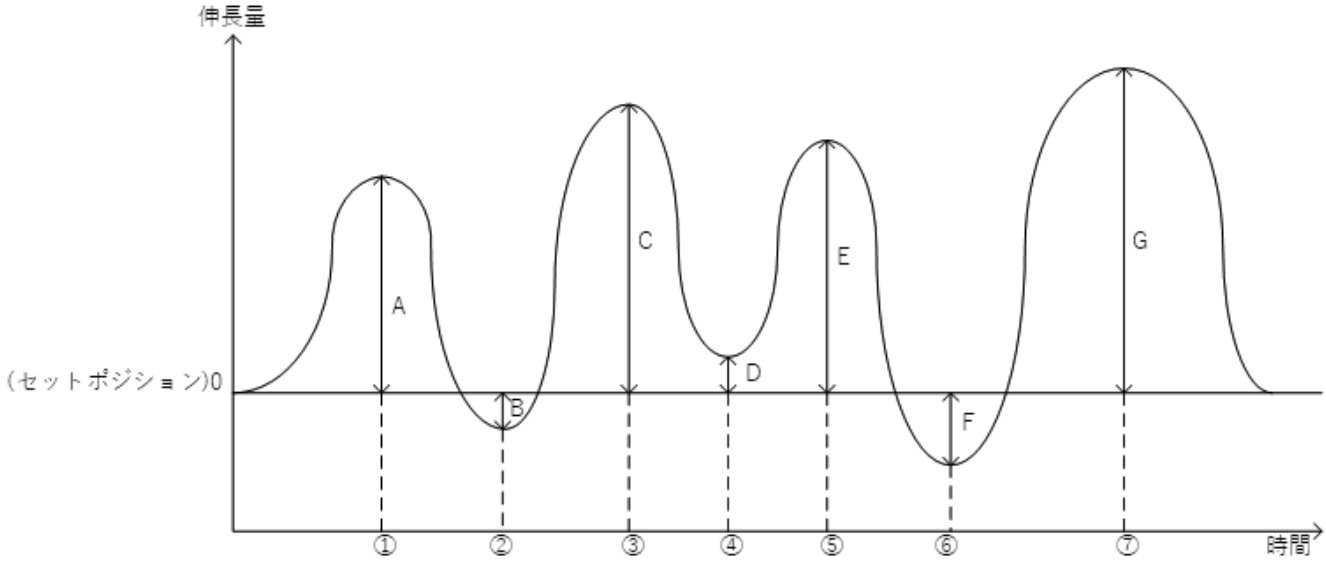
表示例）伸長方向：10.8 mm、収縮方向：-10.8 mm

(2) ホールドモード(HOLD)　※出荷時設定



基準に対する伸長変位量と収縮変位量を合算した変位量（最大変位量）を表示します。測定開始して以降の、最大変位量の最高値を表示して保持します。

概念図



Time / Mode	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
REAL	A	-B	C	D	E	-F	G
HOLD	A	A+B	C+B	C+B	C+B	C+F	G+F

EMC ガイダンス

JIS T 0601-1-2(2018)適合情報

放射エミッション	
試験規格	CISPR 11: 2010 （グループ1 Class A*）
測定周波数	30 MHz – 1 GHz

静電気放電イミュニティ	
試験規格	JIS C 61000-4-2:2012
接触放電	±8 kV
気中放電	±2 kV, ±4 kV, ±8 kV, ±15 kV

放射性電磁界イミュニティ		
試験規格	JIS C 61000-4-3:2012	
電波照射面	0° / 90° / 180° / 270° / 上面 （通信モジュール） 0° / 90° / 180° / 270° （センサベルト, CSセンサ1, CSセンサ2）	
試験周波数	80 MHz - 1000 MHz	1.0 GHz - 2.7 GHz
試験レベル	80 MHz - 1000 MHz	10 V/m
周波数ステップ	80 MHz - 1000 MHz	1%
変調	1 kHz, 80%AM	

RF 無線通信機器からの近接電磁界に対するイミュニティ	
試験規格	JIS T 0601-1-2:2018 JIS C 61000-4-3:2012
電波照射面	0° / 90° / 180° / 270° / 上面 （通信モジュール） 0° / 90° / 180° / 270° （センサベルト, CSセンサ1, CSセンサ2）
試験周波数、 試験レベルおよび変調	385 MHz: 27 V/m (PM, 18 Hz, 50% duty cycle) 450 MHz: 28 V/m (FM, ±5 kHz deviation, 1 kHz sine) 710, 745, 780 MHz: 9 V/m (PM, 217 Hz, 50% duty cycle) 810, 870, 930 MHz: 28 V/m (PM, 18 Hz, 50% duty cycle) 1720, 1845, 1970 MHz: 28 V/m (PM, 217 Hz, 50% duty cycle) 2450 MHz: 28 V/m (PM, 217 Hz, 50% duty cycle) 5240, 5500, 5785 MHz: 9 V/m (PM, 217 Hz, 50% duty cycle)

*注記：この製品のエミッション特性は、工業環境及び病院環境（CISPR 11 クラス A）に適しています。(一般的に CISPR 11 のクラス B を要求する）住宅環境で使用する場合、この機器は、無線周波数通信サービスに対して適切に保護できない可能性があります。
使用者は、例えば、機器の配置場所を変更する、向きを変えるなどの緩和策を取る場合があります。

EMC ガイダンス　（つづき）

警告　取り扱いを誤った場合に、正しく計測できない、もしくは、他の機器に影響を及ぼす恐れがあります。

	本書で指定した付属品以外のケーブルやセンサ等を使用しないでください。 本機器の電磁エミッションを増加させたり電磁イミュニティを減少させる可能性があり、誤動作を引き起こす可能性があります。
	携帯形 RF 通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）を、本機器のあらゆる部分から 30cm よりも近づけないでください。 近づけた場合、機器の性能の低下が生じる可能性があります。

保証について

1．　取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状況で、お買い上げ後、保証期間内（本書「仕様」に記載）に故障した場合には無償交換いたします

2．　無償保証期間内に故障して交換を受ける場合は、ご購入の販売店または本書裏表紙記載の連絡先にお問い合わせください

3．　無償保証期間内でも次の場合には有償での交換となります

(1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷

(2) お買い上げ後の落下、過度の荷重、水没、多量の水かかりなどによる故障および損傷

(3) 地震、水害、落雷、その他の天災地変、または火災･爆発事故等、本機器の設置場所における事故による故障および損傷

(4) 正規の部品･消耗品以外を使用した場合等、故障が本機器以外に起因する場合

(5) 本書記載の注意事項に反する取り扱い、本書で推奨されていない使用方法による故障および損傷

(6) 点検等の依頼内容（不良現象、保証期間等）が明確でない場合

製造販売業者
株式会社Ａｉｍｅｄｉｃ ＭＭＴ
電話番号：03-5715-5211（代表）